

## 1.背景

- 検診機関における精度管理を行う上で、検診機関のプロセス指標を個別に提示し、目に見える形で評価することが重要である。
- 事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）において検診機関別プロセス指標を個別に集計し、集計結果を検診機関へフィードバックすることが求められている。

## 2.検診機関別プロセス指標調査について

- 東京都においては、都内全ての区市町村に対して以下の検診機関別プロセス指標調査を行っており、区市町村は調査に回答することで検診機関別プロセス指標値を把握・集計することができる。

### 令和5年度検診機関別プロセス指標調査概要

#### 1.目的

- ・ 検診実施検診機関に対する精度管理向上
- ・ 市区町村用チェックリスト実施率の向上

#### 2.対象とする検診機関

- ・ 令和3年度中に区市町村が実施するがん検診を100人以上実施した医療機関
- ・ 100人以上実施した医療機関がない場合は、実施数上位3機関

#### 3.調査実施期間

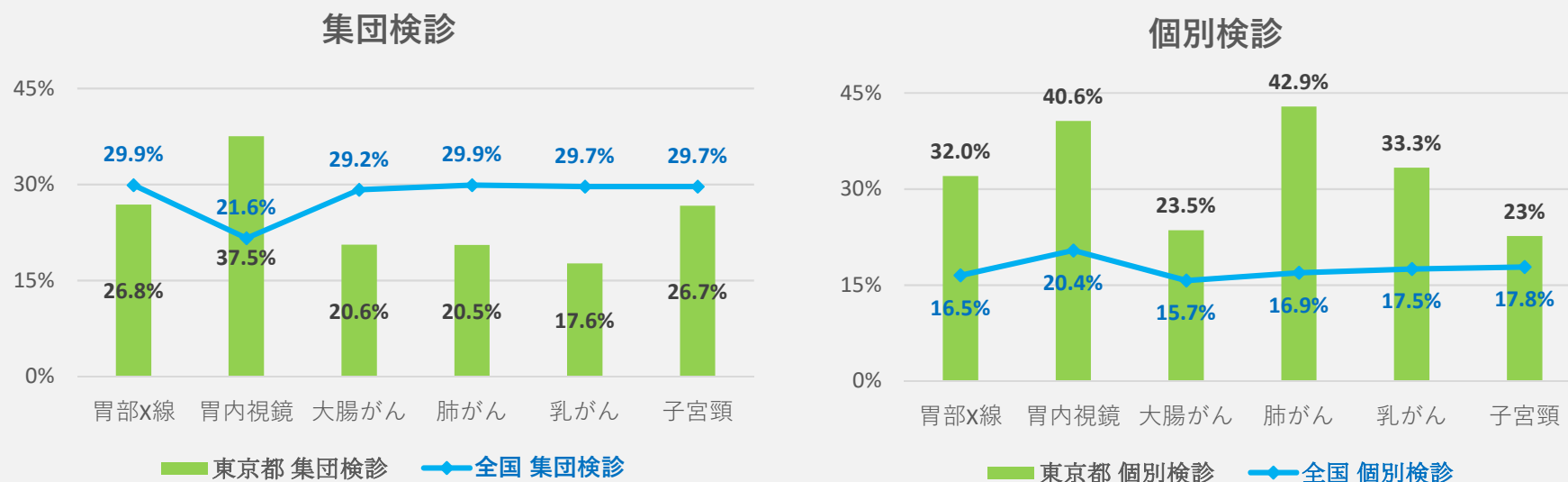
例年10月～11月（令和5年度調査実施期間：令和5年10月20日～11月20日）

# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 3.現状（検診機関別プロセス指標のフィードバックについて）

- 令和5年度市区町村用チェックリスト調査の結果において、集計結果を検診機関へフィードバックできている自治体の割合は以下のとおりである。

【問6-2-2】 検診機関毎のプロセス指標値の集計・フィードバック実施率  
～令和5年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査より～



※令和5年度の全国平均が現時点で未公表のため、令和4年度の全国平均との比較

## 4.課題

- 多くの区市町村で検診機関毎のプロセス指標値を検診機関にフィードバックできていない状況であり、区市町村によるフィードバックを推進し、検診機関の精度管理向上につなげる必要がある。

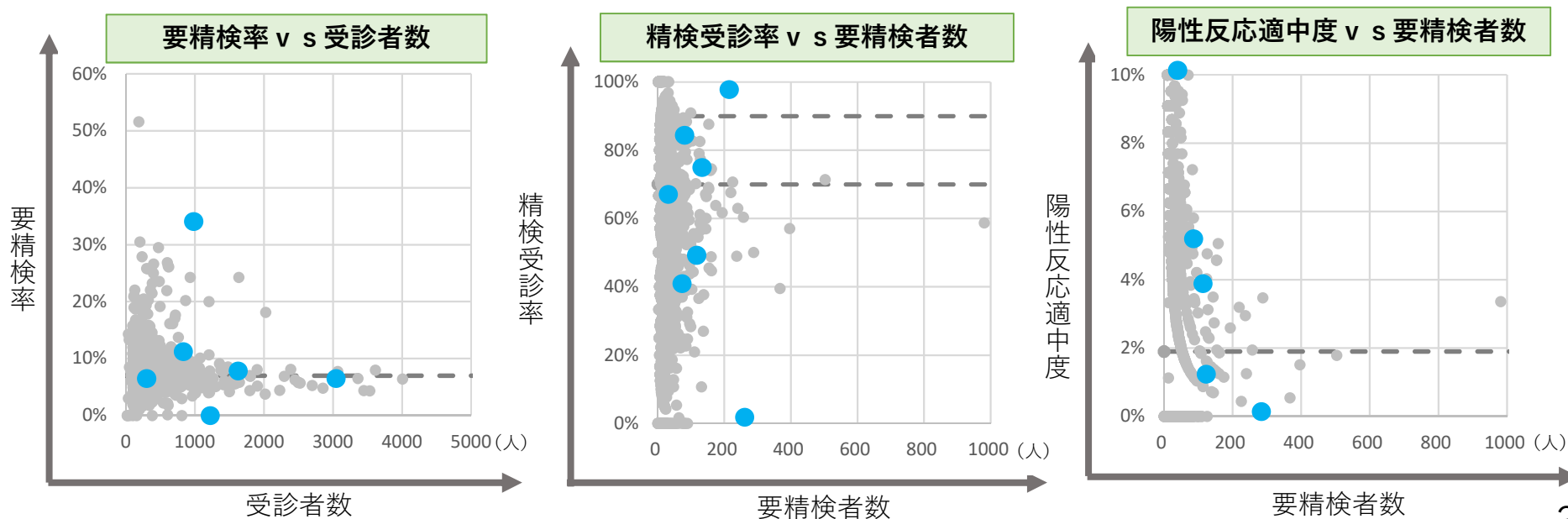
# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 5.方針（検診機関別プロセス指標分析ツール（Excel）について）

- 検診機関ごとにプロセス指標を分析するために、匿名化した都内検診機関の要精検率・精検受診率・陽性反応適中度（令和5年度調査結果）と比較できる検診機関別プロセス指標分析ツール（Excel）を提供予定
- 分析ツールを用いて各検診機関のプロセス指標の状況を見える化することで、各検診機関の精度管理評価が可能となる。（例）指標が極端に高値/低値である検診機関の特定

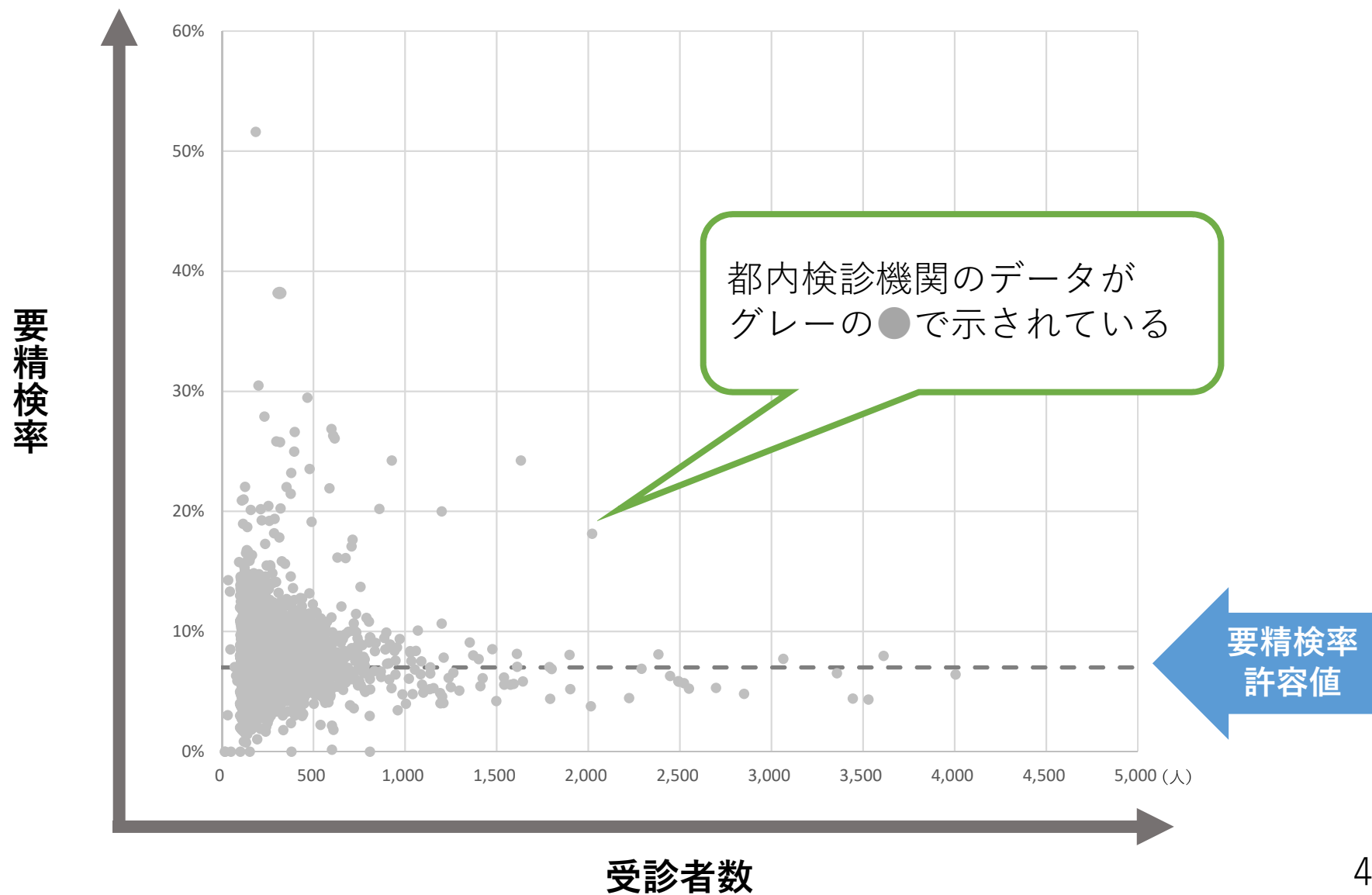
### 検診機関別プロセス指標分析ツール（Excel）イメージ図

- ・ ●は都内検診機関のデータを表し、●は特定の検診機関のデータを表している。
- ・ 各区市町村が調査時の回答結果を分析ツールに転記するだけで、都内検診機関の中で委託先の検診機関がどの位置にいるか把握できるようになり、分析やフィードバックに活用できる。
- ・ 散布図の読み取り方は解説を設けて、分析ツールと併せて区市町村に配布する。



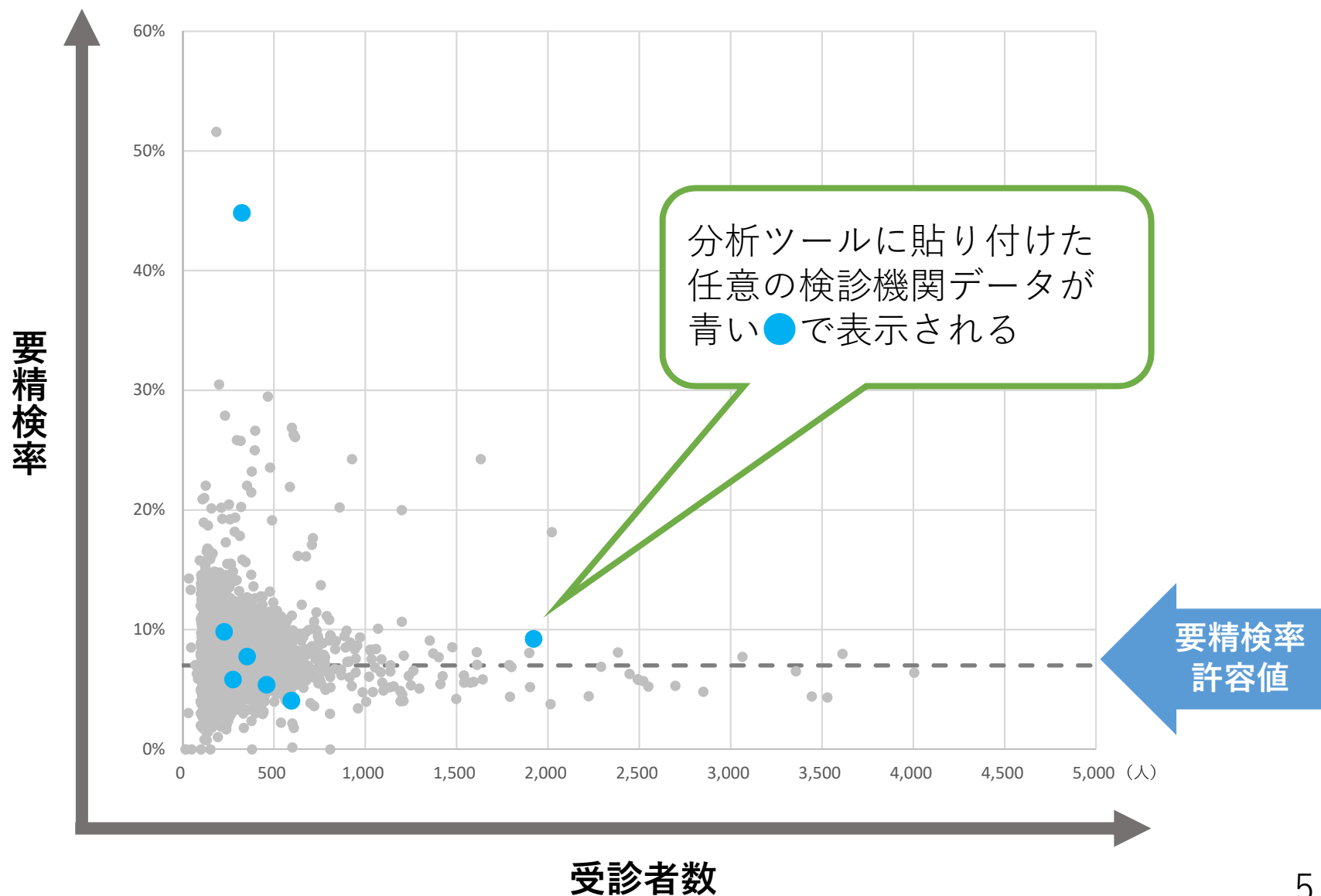
# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 散布図の見方：凡例



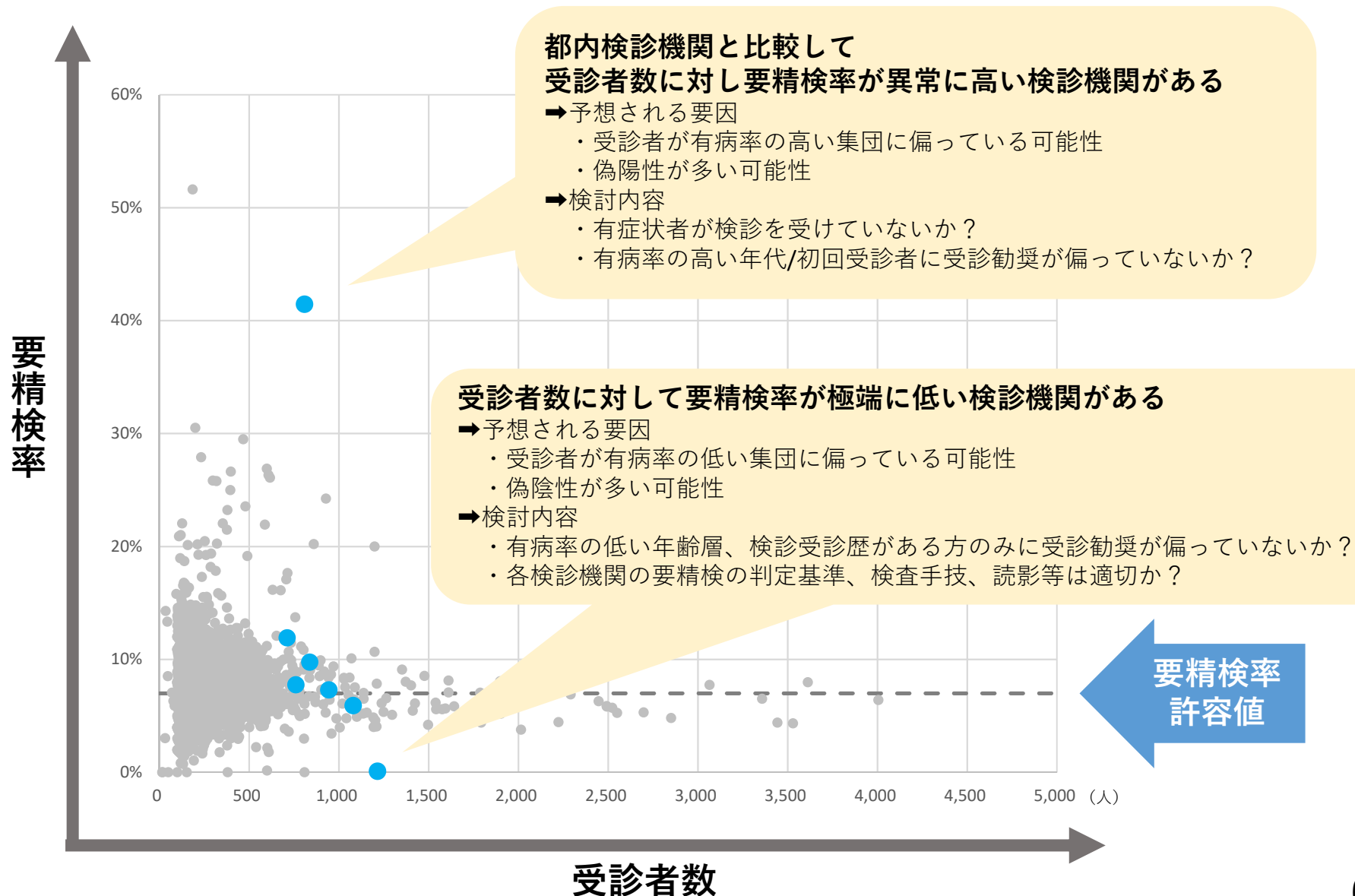
# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 散布図の見方：凡例



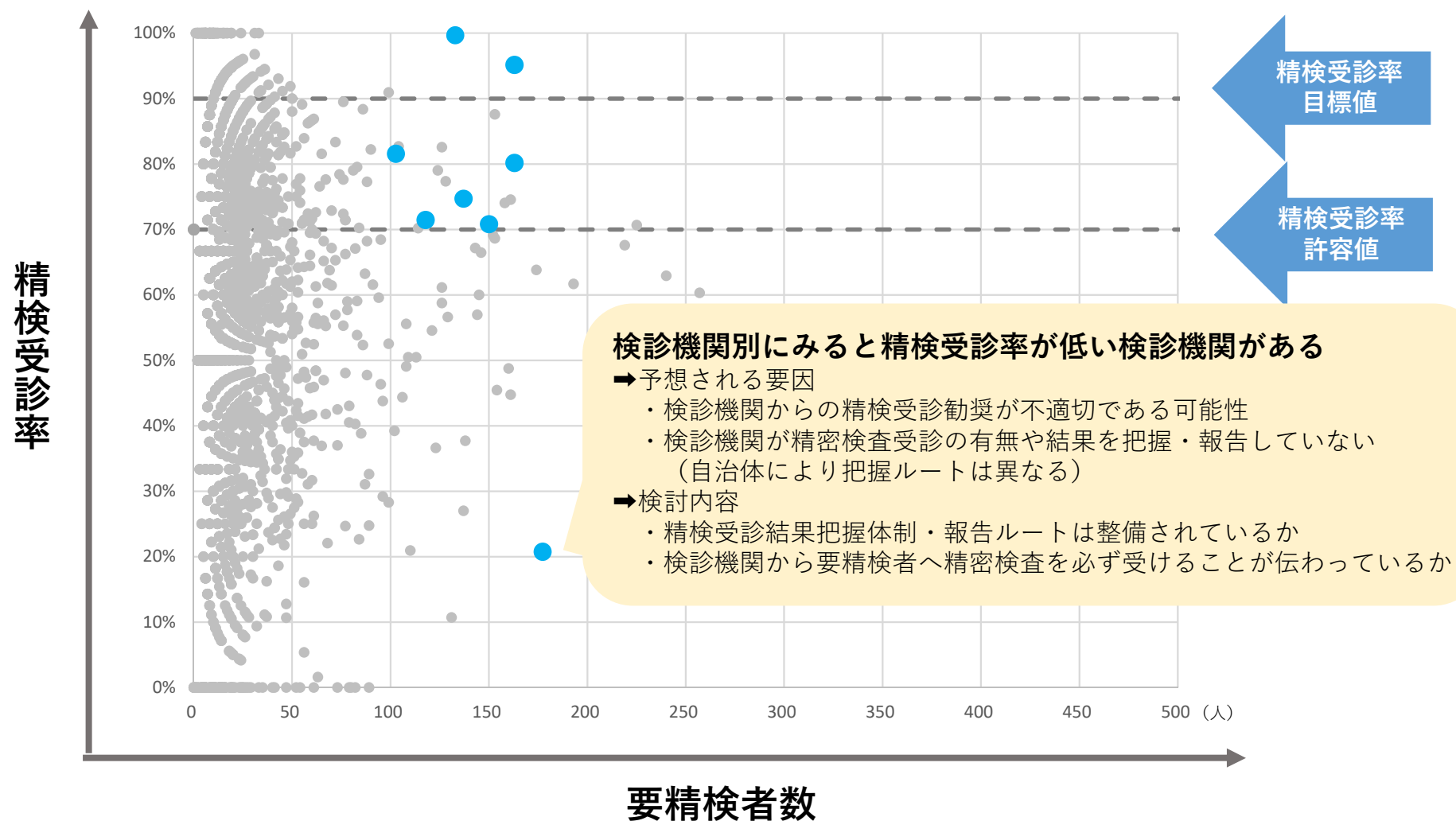
# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 散布図の読み取り方：要精検率vs受診者数



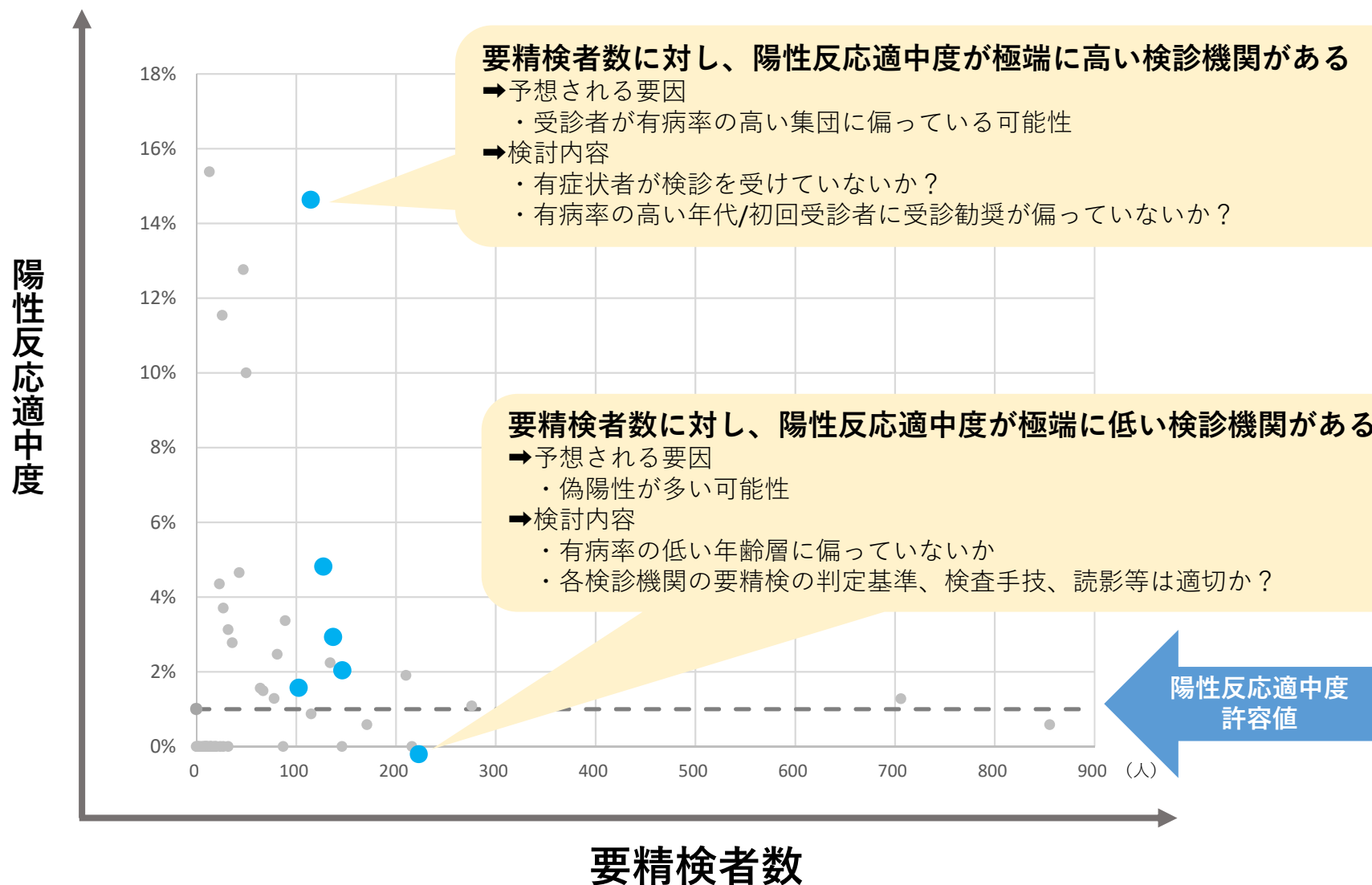
# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 散布図の読み取り方：精検受診率vs要精検者数



# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 散布図の読み取り方：陽性反応適中度vs要精検者数





# 令和5年度検診機関別プロセス指標調査結果のフィードバックについて

## 散布図の見方：注意すべき外れ値について

